

令和7年度周南サポート事業 申請書（一般・食品部門）

令和7年 月 日

公益財団法人周南地域地場産業振興センター 行き

令和7年度周南サポート事業について、下記のとおり申請します。

【お土産・特産品枠】

記載例

事業名(テーマ名)	『 酢橙和菓子の商品化 』	
事業者の名称	(周南うまいっチャ株式会社)	
代表者氏名	(代表取締役社長 田布施 太郎)	
事業者の住所	(〒 123-2525 光市〇〇〇)	
電話 ・ FAX	TEL (0000-00-0000)	FAX (0000-00-0000)
メールアドレス	(〇〇〇 @ 〇〇〇〇〇〇)	
事業担当者・連絡先	担当者(田布施 三郎)	連絡先(携帯)(000-0000-0000)
資本金、従業員数	資本金 (2000 万円)	従業員(パート含む) (30 人)
会社概要 業務内容	(設立 2001 年) 菓子製造業 和菓子の製造	

① 事業の内容（試作、商品化、販路の開拓、収益増加に向けての検討 等）

地元で収穫された酢橙を広めるため、酢橙の特徴を活かしたフルーツ大福を開発し、商品化したい。
大福の大きさや甘さと酸っぱさのバランスを検討しながら商品を開発したい。
その後パッケージ、デザインを決定し、商品化に繋げたい。

まずは地元のイベントやマルシェ等でテスト販売を行う。市場調査や消費者の反応を確認してから、
地元の道の駅、サービスエリア、アンテナショップ等で販売したい。
いずれは県外の展示会・商談会に出展参加し、スーパーなどの県外販路を開拓したい。

② 事業の目標(本年度どの段階までを目標とするか 商品化している商品は売上目標、新規取引 等)

食感と味(酸っぱさ)のバランスの良い、美味しい大福を完成させる。酢橙のルーツを調査し、
食べてみたくなるようなストーリーを完成させたい。
手にとりたくなるような、食べたくなるようなパッケージ、デザインを制作する。イベント等に積極的に参加して
市場調査を行う。今年度は、週末のみ販売で年間、2000 個の販売を目指す。

③ 事業の課題

甘さと酸っぱさのバランスの評価方法を一緒に考えて欲しい。どのような段取りで販売していけばよいか
分からないので教えて欲しい。類似品のみかん大福は、どのようにして人気商品となったのか調査したい。
ネーミングを考えたい。

④ 周南地場センターにサポートを要望する部分

食品分析や検査ができる分析機関、パッケージデザインの製作者を紹介してほしい。
首都圏でのテスト販売を実施するため、アンテナショップでの販売、展示会に出展をサポートして欲しい。

< 申請受理後、予算書をダウンロードして提出してください。>